

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GI1	科名 シューズデザイン科1年	単位 4 単位
科目コード	科目名 シューズ デザイン I	授業期間 通年

担当教員(代表) :	共同担当者 :
宮原 勝一	

【授業概要、到達目標・レベル設定】

基礎段階から、より具体的な素材別、アイテム別の流行に沿ったデザイン発想力を養う

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. シーズン毎の素材をテーマに、具体的な課題によるデザインスケッチ作成
2. 市場調査とレポートによる、デザイン、カラー、素材、爪先/ヒール形状の傾向を捉える演習
3. メンズ、レディースのアイテム別デザインバリエーションの提案
4. 国内、海外の様々なデザインコンテストへ参加

【評価方法】

学業評価・期末試験 80% · 授業姿勢 20%

主要教材図書

ファッション工芸講座2 シューズ

参考図書

その他資料

授業の特徴 : シューズ制作の授業における評価科目。制作作品のデザインと各期末試験によって評価。

担当教員紹介 : シューズデザイン科専任教授

記載者氏名 宮原 勝一

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GI1	科名 シューズデザイン科1年	単位 6 単位
科目コード	科目名 シューズ パターンメーキング I	授業期間 通年

担当教員(代表) :	共同担当者 :
宮原 勝一	

【授業概要、到達目標・レベル設定】

基本デザインのパターン設計技術の基礎を習得する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

○ 紳士短靴基本デザインのパターン設計手順の習得

- ・ バランスの良いラインの求め方、各部基準寸法、展開方法など
- ・ ライニングの設計と縫製のまとめ方
- ・ 各自、片足トライアルアッパーを作成し、ラストに釣込み、パターンの確認

○ 紳士指定ラストによる各自オリジナルデザインのパターン設計

- ・ 基本の設計基準を駆使し応用力を養う
- ・ 各自のパターンから靴を制作し、完成度をチェック

○ 婦人指定ラストによる各自オリジナルデザインのパターン設計

- ・ 基本の設計基準を駆使し応用力を養う
- ・ 各自のパターンから靴を制作し、完成度をチェック

○ 紳士・婦人サンダル基本デザインのパターン設計手順の習得

- ・ バランスの良いラインの求め方、各部基準寸法、展開方法など
- ・ ライニングの設計と縫製のまとめ方
- ・ 各自、片足トライアルアッパーを作成し、ラストに釣込み、パターンの確認

【評価方法】

学業評価・期末試験 80% ・ 授業姿勢 20%

主要教材図書

ファッション工芸講座2 シューズ

参考図書

その他資料 パターンサンプル、アッパーサンプルなど

授業の特徴 : シューズ制作の授業における評価科目。制作作品のパターンと各期末試験によって評価。

担当教員紹介 : シューズデザイン科専任教授

記載者氏名 宮原 勝一

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GI1	科名 シューズデザイン科1年	単位 7 単位
科目コード	科目名 シューズ 制作実技 I	授業期間 通年

担当教員(代表) : 宮原 勝一	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

靴制作の実習を通じて基本的な裁断、製甲、底付け、仕上げの工程を理解する。
基礎的な手釣りのセメント製法の製造技術を習得し、作品サンプルづくりに活用する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

○紳士短靴のオリジナルデザインの制作実習

- 各自のパターンでトライアルアッパーを作製、ラストに仮釣込みチェック
- 各自選定した甲材、裏材での裁断
- スキ加工、縫製作業
- 先芯、月形芯の作製
- 中底、表底の作製
- ハンドラスティング
- 木ヤスリ、グラインダーによる起毛作業
- 圧着機による表底接着作業
- ヒールの取り付け
- コバ染色、甲部アンティックなどの仕上げ工程作業

○婦人短靴のオリジナルデザインの制作

- 各自のパターンでトライアルアッパーの実習
- 各自選定した甲材、裏材での裁断実習
- スキ加工、縫製作業の実習
- 先芯、月形芯の作製実習
- ハンドラスティングの実習
- 木ヤスリ、グラインダーによる起毛作業の実習
- 圧着機による表底接着作業の実習
- コバ染色、甲部アンティックなどの仕上げ工程の実習

○紳士・婦人短靴のオリジナルデザインの制作

- 各自のパターンでトライアルアッパーの実習
- 各自選定した甲材、裏材での裁断実習
- スキ加工、縫製作業の実習
- 中底設計、加工の実習
- ハンドラスティングの実習
- 木ヤスリ、グラインダーによる起毛作業の実習
- 圧着機による表底接着作業の実習
- コバ染色、甲部アンティックなどの仕上げ工程の実習

【評価方法】

学業評価・提出課題 80% · 授業姿勢 20%

主要教材図書

ファッション工芸講座2 シューズ

参考図書

その他資料 工程サンプルなど

授業の特徴 : シューズ制作の授業における評価科目。制作作品と各提出物により評価

担当教員紹介 : シューズデザイン科専任教授

記載者氏名 宮原 勝一

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GI1	科名 シューズデザイン科1年	単位	1単位
科目コード	科目名 シューズクリエーション	授業期間	後期

担当教員(代表) : 宮原 勝一	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

靴にまつわるアイテムを柔軟で自由に発想しデザイン応用力の強化

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

○メダリオン設計

紳士靴に欠かせないモチーフを制作制限等をクリアして新しいデザインを発想する

○オリジナル革プリント制作

オリジナルのプリントを企業より提供を受けた皮革を用いて別課題で制作したパンプスの上に表現する。
東京レザーフェア・和歌山レザーフェアに展示予定。

○下駄制作

日本古来の履物である下駄からオブジェ感覚の開放的履物をデザイン・制作。

テーマ、コンセプトを各自で決定しデザインする。

未仕上げの下駄の土台から加工、着彩など施し制作。

【評価方法】

学業評価・作品評価 80% · 授業姿勢 20%

主要教材図書

ファッション工芸講座2 シューズ

参考図書

その他資料 参考作品など

授業の特徴 : シューズ制作の授業の一環として、制作に関わる題材を元にデザインを発想する科目。

担当教員紹介 : シューズデザイン科専任教授

記載者氏名 宮原 勝一

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GI1	科名 シューズデザイン科 1年	単位	1単位
科目コード	科目名 シューズ素材論	授業期間	前期

担当教員(代表)：宮原勝一

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

靴に使用される甲材、底材、副資材や、各製法の特徴、道具としての靴型、サイズの仕組みなど、シューズデザイナーとして必要な知識を習得し、製品の仕様書を作成できるレベルを目指す。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1.革の種類と特徴を理解する。(講義)

2.合成皮革と人工皮革の特徴を理解する(講義)

3.副資材の種類と役割を理解する(講義)

4.底材の種類と特徴を理解する(講義)

5.靴の製法と特徴を理解する(講義)

6.ラストの種類と特徴を理解する(講義)

7.サイズとラストの国別の違いを理解する(講義)

8.工業製品としての靴づくりのプロセスと製品仕様書の役割と重要性を理解する(講義、演習)

【評価方法】

S～C・F評価

年度末試験 (80%)

出欠席、授業態度での評価 (20%)

主要教材図書 ファッション工芸講座2 シューズデザイン プリント配布

参考図書

その他資料

授業の特徴：靴に使用される甲材、底材、副資材、製法の特徴、靴型、サイズなど、素材や靴見本に触れながら学ぶ。
担当教員紹介：シューズデザイン科専任教員 一般社団法人足と靴と健康協議会認定バチェラーシューフィッター、

シューフィッター技術指導員、シューフィッタークラブ(SFC)会員、職歴：大塚製靴(株)

記載者氏名 宮原 勝一

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GI1	科名 シューズデザイン科 1年	単位	1 単位
科目コード 301800	科目名 靴人間工学	授業期間	

担当教員(代表) : 田島智司	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

足と靴の良い関係を模索するための科目で足からのアプローチを主として講義を進め理解を深める。

テーマ	方法	コマ数
ヒトの身体のかたち 四肢の形状を理解する	講義	1
足の基本構造 1 骨格配列を理解する	講義	1
足の基本構造 2 筋肉、腱、靱帯を理解する	講義	1
足の基本構造 3 足のアーチ構造を理解する	講義	1
足の基本構造 4 成長と老化を理解する	講義	1
ヒトの歩行 あおり歩行を理解する	講義・実習	1
自分の足の観察 1 正確なサイズを知る	講義・実習	1
自分の足の観察 2 アーチの高さを知る	講義・実習	1
自分の足の観察 3 日本人平均と自身のサイズを比較する	講義・実習	1
足の生理 ミルキングアクションを理解する	講義	1
足の病気と障害 1 前足部の変形障害を理解する	講義	1
足の病気と障害 2 皮膚、爪の障害を理解する	講義	1
脚の病気と障害 股関節、膝関節の障害を理解する	講義	1

【評価方法】

学業評価 80% 授業姿勢 20%

授業の特徴と担当教員紹介

企業において、靴のデザイン、設計、企画、開発、国内外の紳士靴・婦人靴の生産、靴型設計を担当した業務経験をもとに、多面性を持つ靴と体の関係を「足、運動そして靴」から考察することにより、靴に対する理解度と関心を深める授業を実施

主要教材図書 なし
参考図書 なし
その他資料 自主作製

記載者氏名 田島智司

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GI1	科名 シューズデザイン科1年	単位	2単位
科目コード	科目名 自由研究 I	授業期間	通年

担当教員(代表) :	共同担当者 :
宮原 勝一	

【授業概要、到達目標・レベル設定】

各教科目を基に、さらに高度な技術と創造性を磨く為に、個人テーマにより研究する

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

◆各種コンテスト

- ・YKKファスニングアワード
- ・台東デザインアワード
- ・TLF革のデザインコンテスト
- ・文化服装学院ファッションコンテスト 服飾工芸部門
- ・その他関連コンテスト

◆コラボレーション企画への参加

◆美術館、博物館等の見学

◆個人テーマによる作品制作

【評価方法】

学業姿勢・各課題の提出状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書

ファッション工芸講座2 シューズ

参考図書

その他資料 参考作品など

授業の特徴:授業時間には割り当てられていない科目。

長期休暇の統一課題等の他、各人が設定した研究の取り組む姿勢で評価する。

担当教員紹介: シューズデザイン科専任教授 一般社団法人足と靴と健康協議会認定バチェラーシューフィッター
シーフィッター養成講座技術指導員、シーフィッタークラブ(SFC)会員 職歴: 大塚製靴(株)

記載者氏名 宮原 勝一

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード G11	科名 シューズデザイン科1年	単位 2単位
科目コード 305010	科目名 ハンディクラフト I	授業期間 通年

担当教員(代表)：白戸 薫

共同担当者：

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 各種のクラフトテクニックを、エンブロイダリーと布の加工に大別し、基礎的なテクニックを幅広く学習する。
 特に、帽子・バッグ・シューズ・アクセサリー等のグッズ制作に、応用することをイメージしながら実習させる。
 併せて、学習したテクニックが使われている実際の商品などの資料を集め、ブックの形式で完成させる。
 それにより、テクニックだけにとらわれない応用性を身につけさせる。

授業計画＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

*エンブロイダリー

- カラーエンブロイダリー 刺しゅうの中で、代表的な色糸刺しゅうの基本的なステッチの実習(3)
- ステッチの応用 ボリュームのあるステッチの実習 より多種多様なステッチの習得(1)
- キャンバスワーク 基本的なステッチを用いながら、織り糸を数えて刺すテクニックの実習(2)
- コードエンブロイダリー 紐状のものを布に止め付けていくテクニックの実習(1)
- ビーズ/スパングルエンブロイダリー 服飾素材の扱い方の基本テクニックの実習(1)
- ミラーワーク ミラーの止め付け方のテクニックの実習(1)
- ビーズ/スパングルエンブロイダリ～応用 オリジナルの図案をデザインしモチーフを制作(1)

*布の加工

- アップリケ 布を切り貼りするテクニックの実習(1)
- ファンシープリーツ 布を折りたたみ装飾を施すテクニックの実習(1)
- スマッキング ベーシックススマッキングのうち柄布(ギンガム)を使ったテクニックの実習(1)
- カットワーク 布にステッチをして切り抜き、透かし模様を表現するテクニックの実習(1)
- フリル/ギャザー/ヨーヨー ファブリック マニュピュレイティング(布加工)の代表的な
テクニックの実習(1)
- ドロンワーク 糸抜きした部分にかがりを入れ、透かし模様を表現するテクニックの実習(2)
- リボンワーク 幅広いテープ状のものを装飾的に加工するテクニックの実習(1)
- ラティススマッキング 布を裏面からつまむことによる陰影の表現のテクニックの実習(2)
- イタリアンスマッキングレリーフライクな布の表現のテクニックの実習(1)
- キルティング 布を部分的にふくらませて、レリーフ状に加工するテクニックの実習(2)
イタリアンキルティング/イングリッシュキルティング

*レース

- マクラメ 紐やコードを手で結んで模様を表現するテクニックの実習(2)

*ブックの制作 学習した技法の総括として、資料と共に構成する(1)

評価方法・対象・比重

制作物の評価にブックの採点をプラス

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧ 手芸

参考図書

その他資料 各種技法サンプル 講師作成プリント類

記載者氏名 白戸 薫

授業の特徴と担当教員紹介

ニット企業でのニットデザイナーを経て、フリーでハンディクラフトを生かした作品制作(キッズニット・編みぐるみ・バッグ・ニット帽など小物からインテリアグッズまで)・雑誌等の活動経験をもとに指導。クラフトテクニックをエンブロイダリーと布の加工に大別し、基礎テクニックを幅広く習得する。帽子・バッグ・シューズ・アクセサリー等のグッズ制作に応用することをイメージしながら実習する授業を実施

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GL1	科名 シューズデザイン科1年	単位	2単位
科目コード 500200	科目名 デッサン	授業期間	通年

担当教員(代表) : 柳澤 利光

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

モチーフを実際に観察して描く訓練を重ねることで、デザインイメージを見る側に伝える為の基本描写能力と、創造力の元となる視点・気付きの習得を目的とする。デザイン画の前段階として、モチーフの構造を透視化する力・線や面による立体表現・質感表現を主に学ぶ。

【授業計画】

- 1、オリエンテーション：様々な物を描く際に大切な、幾何形体について学ぶ。
- 2、帽子のデッサン①：造形・質感・パース空間の習得。
- 3、帽子のデッサン②：造形・質感・パース空間の習得。
- 4、石膏トルソのデッサン①：大きな面で捉えた造形・空間・描き込みと省略の習得。
- 5、石膏トルソのデッサン②：大きな面で捉えた造形・空間・描き込みと省略の習得。
- 6、石膏トルソのデッサン③：大きな面で捉えた造形・空間・描き込みと省略の習得。
- 7、石膏トルソのデッサン④：大きな面で捉えた造形・空間・描き込みと省略の習得。
- 8、靴のデッサン①：靴（基本造形）の理解。
- 9、靴のデッサン②：靴（基本造形）の理解。
- 10、石膏頭部デッサン①：大きな面で捉えた造形・空間の習得。
- 11、石膏頭部デッサン②：大きな面で捉えた造形・空間の習得。
- 12、石膏頭部デッサン③：大きな面で捉えた造形・空間の習得。
- 13、石膏頭部デッサン④：大きな面で捉えた造形・空間の習得。
- 14、金属リングのデッサン：円形造形・質感の習得。
- 15、バッグのデッサン①：バッグ（基本造形）の理解。
- 16、バッグのデッサン②：バッグ（基本造形）の理解。
- 17、小物を描く①：観察による視点と気付きの習得。
- 18、小物を描く②：観察による視点と気付きの習得。
- 19、鳥剥製のデッサン①：造形・質感・パース空間の習得。
- 20、鳥剥製のデッサン②：造形・質感・パース空間の習得。
- 21、鳥剥製のデッサン③：造形・質感・パース空間の習得。
- 22、静物デッサン①：造形・質感・パース空間の習得。
- 23、静物デッサン②：造形・質感・パース空間の習得。
- 24、静物デッサン③：造形・質感・パース空間の習得。
- 25、石膏ヴィーナス像のデッサン①：大きな面で捉えた造形・描き込みと省略の習得。
- 26、石膏ヴィーナス像のデッサン②：大きな面で捉えた造形・描き込みと省略の習得。
- 27、石膏ヴィーナス像のデッサン③：大きな面で捉えた造形・描き込みと省略の習得。
- 28、石膏ヴィーナス像のデッサン④：大きな面で捉えた造形・描き込みと省略の習得。

【評価方法】

S～C・F評価。評価基準：学業評価80%授業姿勢20%。

主要教材図書 なし

参考図書	なし
その他資料	授業の各テーマに合わせ、講師側で準備。
授業の特徴と担当教員紹介	
実際にものを観察し手を動かして制作する中で、創造力・描写力を伸ばします。 担当教員はファインアートを主に制作しています。	
記載者氏名 柳澤 利光	

科コード	科 名 帽子デザイン科、ジュエリーデザイン科、バッグデザイン科、 シューズデザイン科 1年	単 位 2
科目コード	科目名 造形演習	授業期間 通年

担当教員(代表)： 北川 陽史	共同担当者：
-----------------	--------

教育目標・レベル設定など

ファッショングッズの各専門分野において必要とされる造形感覚、審美眼の育成と造形・デザインの展開とその方法論の享受を教育目標とする。一般的な造形・デザインに対しての基本的理解と造形能力を高めるために重要な理論的解釈、また、造形言語と呼ばれる表現要素の認識とその利用方法の理解と探求を通じ、独自の表現に昇華する事を目標とする。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

授業は造形作品の制作実習(主に平面上での表現)を中心に展開される。

各項目(テーマ)に対し前提講議を行い、造形理論と制作の方法論を解説する。

制作実習、作品講評を通して造形に対する基本的な理解と展開方法の具体例を解説・アドバイスすることで、
学生個々の造形感覚の拡張を目指す。

- | | |
|--------------|---|
| 1 概論 (講義) | 造形を主体とした発想とその展開について視覚心理的見解(錯視)も含め解説(1コマ) |
| 2 イメージ構成 | イメージを形態と構成によって単純な造形として平画面に落とし込む。
画面内に「動感」を形成。モノクロ平面構成による構成力の育成(3コマ) |
| 3 偶発性と造形要素抽出 | 様々な描画技法(デカルコマニー、フロッタージュ等)を用い、
偶発的に生まれる効果を画面構成の要素として採取し編集する。
ブックとして提出。各種画材、アクリル(黒のみ)と各種用紙(5コマ) |
| 4 平面上での立体的表現 | 平面上における空間感覚の理解。
レリーフの作成、及び色彩表現。(5コマ) |
| 5 光とその表現 | 物質と光の関係性を理解し、デザイン表現を行う。
「光」を多角的に捉え、表現する。平面構成等(3コマ) |
| 7 手に馴染む形 | 抽象概念の理解と彫刻的技法の理解。
イメージ・感覚を抽象化された有機的な形で表現する。(4コマ) |
| 6 表層のデザイン | 触覚チャートの作成を行う。
素材の理解と、その表層に現れる質感の理解。(4コマ) |
| 8 100枚ドローイング | ドローイングから、自己分析、自己表現を行う。
無意識的に表現されたドローイングを客観的に解釈し、そこから表現を重ねていく。(3コマ) |

評価方法・対象・比重

S~C・F評価

評価基準：学業評価 60%、授業姿勢 40%

制作実習における成果物を評価基準の対象のひとつとする。基礎造形の理解度と表現性を評価の基準とし、

それに加え、独創性、独自の表現に通じる可能性の感じられるものを高く評価する。

制作実習時の姿勢は勿論、出席状況、制作終了後の清掃なども制作プロセスの一部と捉え、採点に加味し、総合的に評価する。

主要教材図書

特になし

参考図書 Visual design(平面・色彩・立体構成) 1 (改訂新版) 日本グラフィックデザイナー協会／六耀社

その他資料 特になし

記載者書名欄 北川 陽史

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部 1

科コード GI1	科名 シューズデザイン科 1年	単位 1
科目コード 501800	科目名 色彩論・演習	授業期間 前期

担当教員(代表)：三枝みさお

共同担当者：

教育目標・レベル設定など

ファッションの色彩に関する基礎的な知識と技術を、講義と実習を通して身につける。

色彩の体系、色彩の科学、色彩心理、配色の基礎について学び、ファッション工芸の現場で生かすことを目標とする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1. オリエンテーション(1コマ)〈講義〉

2. 色彩の体系(4コマ)〈講義・演習〉

- ・色の分類方法
- ・色の三属性とトーン
- ・色の識別

[カラーチャート作成]
[課題作成：色相別コレージュ]

4. 色彩のはたらき(1コマ)〈講義〉

- ・識別 サイン シンボル 身体保護 衛生保持 誘目性

5. 色彩の心理(2コマ)〈講義・演習〉

- ・色の三属性による感情効果
- ・色彩のイメージ

[プリント演習]
[プリント演習]

6. 配色(4コマ)〈講義・演習〉

- ・色相を基準にした配色
- ・トーンを基準にした配色
- ・配色提案

[プリント演習]
[プリント演習]
[課題作成：カラーコーディネーション]

7. 色彩構成(2コマ)〈講義・演習〉

- ・シンメトリー アシンメトリー レピテーション
- ・グラデーション アクセント セパレーション

[プリント演習]
[プリント演習]

評価方法・対象・比重

S・A～C・F評価 評価基準：学業評価 70% 授業姿勢 30%

主要教材図書

『ファッション色彩 I』(文化出版局)

参考図書 特になし

その他資料 Color Chart、ベーシックカラー140

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：講義と演習によって理論と感性を磨く

担当教員：文化服装学院専任教授

記載者書名欄 三枝みさお

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GL1	科名 工芸科1年 合同	単位	1単位
科目コード 200600	科目名 染色演習	授業期間	半期（後期）

担当教員(代表) : 伊藤 望	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要・到達目標・レベル設定】

染色に関する基礎的な知識と技術を、各実習を通して習得し、それをもとにアパレルやアパレル小物の制作に応用展開できる能力を養う。

さらに、染色・加工の観点からテキスタイルについての理解を深めることを目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- | | | |
|--------------------|-------|---------|
| 1. ガイダンスおよび染色概論 | (1コマ) | (講義) |
| ・授業内容について | | |
| ・主な染料の種類と特徴 | | |
| ・染料と繊維の染色適合性 | | |
| ・染料と繊維の結合と染着過程 | | |
| 2. 酸性染料による原毛(羊毛)染色 | (1コマ) | (実習) |
| ・羊毛の性質 | | |
| ・酸性染料の特徴 | | |
| ・羊毛の酸性染料による浸染法 | | |
| 3. 羊毛を使用したフェルト制作 | (4コマ) | (講義・実習) |
| ・羊毛の縮絨性 | | |
| ・羊毛のフェルト制作方法 | | |
| 4. 型紙捺染 | (4コマ) | (講義・実習) |
| ・型紙捺染の仕組み | | |
| ・捺染の種類と版式 | | |
| ・顔料樹脂染料の特徴と染料との比較 | | |
| ・特殊プリント加工 | | |
| ・図案構成と型紙制作 | | |
| ・印捺と仕上げ方法 | | |
| 5. スクリーンプリント | (4コマ) | (講義・実習) |
| ・スクリーンプリントの仕組み | | |
| ・量産プリントの版式と生産工程 | | |
| ・図案構成と製版 | | |
| ・印捺と仕上げ方法 | | |
| ・スクリーンプリントと型紙捺染の比較 | | |

評価方法・対象・比重

学業評価 70%、授業姿勢 30%

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座④アパレル染色論 文化服装学院編 文化出版局

参考図書

その他資料

授業の特徴 染色の基礎的な浸染法（無地染め）・捺染法（模様染め）を主体に、その他加工法も含め実習する
担当教員紹介 伊藤 望：女子美術大学、文化服装学院 卒業後、文化服装学院勤務 現在講師

記載者氏名 伊藤 望

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GI1	科名 シューズデザイン科1年	単位 1 単位
科目コード	科目名 グラフィックワーク I	授業期間 後期

担当教員(代表) : 飯塚 有葉 共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

Photoshop・Illustrator 初心者を対象とし、Photoshop では、画像の切り抜き・合成・手描きデザイン画の着彩ができるようになることを目標とする。Illustrator では、マップのレイアウトデザインができるようになることを目標とする。

【授業計画】

1. Photoshop の基本操作 : 講義・実習 4コマ
①移動ツールの使い方 ②ブラシツールの使い方 ③レイヤーマスクを使った切り抜き
④画像合成
2. 画像合成・ファイル表紙のデザイン : 講義・実習 2コマ
①画像の収集 ②切り抜き・画像合成 ③文字入力
3. デザイン画の着彩 : 講義・実習 5コマ
①着彩準備 ②陰影表現 ③ブラシツールの着彩
④連続柄作成 ⑤パネル柄
4. Illustrator 基本操作 : 講義・実習 3コマ
①基本図形の描き方 ②色の設定方法 ③整列・画像の配置
④クリッピングマスク ⑤スウォッチ・ブラシ ④レイアウトデザイン

【評価方法】

学業評価 60%、授業姿勢 40%

主要教材図書

参考図書

その他資料 Adobe Photoshop CC2021/Adobe Illustrator CC2021

授業の特徴と担当教員紹介 講義と実習を交互に行い、実際にPCを操作しながらグラフィックのソフトの使用方法を身につける授業です。担当教員は、デジタルプリントデザインを専門としており、連続柄の知識を加えながら、幅広いPCスキルを身に付けられる授業を目指しています。

記載者氏名 飯塚 有葉

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GL1	科名 シューズデザイン科1年	単位	1単位
科目コード	科目名 ファッションビジネス概論	授業期間	前期

担当教員(代表) : 澤住 優子	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

- ・ファッションビジネスの基礎知識の理解
- ・ファッション産業構造の把握と専門業務の把握による職種選択のための対応

I. ファッションとビジネス (1コマ)

1. オリエンテーション 衣服とファッションの関係

II. ファッションビジネスの基礎知識 (2コマ)

1. ファッションの範囲と流行の把握
2. ファッションの構成メンバー ファッションビジネスに求められる資質

III. ファッションビジネスの変遷 (3コマ)

1. 戦後の社会経済とファッション消費の変遷 1950年-1970年
2. 戦後の社会経済とファッション消費の変遷 1980年-現代
3. 現代のファッションキーワード~未来型ファッションビジネス思考

IV. ファッション産業の構造 (3コマ)

1. テキスタイル産業の構造 テキスタイル業界と産地
2. アパレル産業の構造について アパレル業界とアパレルメーカー
3. 小売業の構造について リテール業界と新業態

V. ファッションビジネスの実務 (3コマ)

1. アパレル企業の業務と職種について
2. ファッション小売業の業務と職種 ファッション販売と顧客の購買行動
3. マーケティングの基礎知識

VI. 計数知識 (1コマ)

1. ファッションビジネスに必要な計数の基礎知識

※すべて講義

評価方法・対象・比重

テキスト提出 60% 出席 40%

主要教材図書 文化ファッション体系服飾関連専門講座12 ファッションビジネス

参考図書 日経、織研新聞、織維白書など

その他資料 教材専用プリント類

記載者氏名 澤住 優子

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コド GL1	科名 シューズデザイン科 1年	単位	2 単位
科目コード 501410	科目名 シューズデザイン画 I	授業期間	通年 ()

担当教員(代表) : 河西 恵美子 共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

シューズ基本フォームやテクニックの習得、リサーチからのインスピレーションアイディアをデザインワークに展開し表現力を高める。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

[立体の把握と構造、製品図表現] …4 コマ

- 足、シューズ形体の理解…靴底・ヒール・トーの関係の描き方演習
靴のヒールの高さによる、フラット・ロー・ミドル・ハイヒールについて
- ベーシックシューズによるバランスのフォルムを横向き・斜め向きの描き分け演習

[ディテールデザイン表現] …6 コマ

- 副資材の描き方…ファスナー・バックル・釦等の演習
- 彩色テクニックと装飾表現力を身につける、サンダル・ミュールを描く
カットワーク・パッチワーク・コサージュ・リボン等、凹凸のデザイン表現

[素材表現] …3 コマ

- エキゾチックスキンなどの特徴ある皮革素材のデザイン表現

[創作デザイン]

- テーマに対して資料となる材料を収集し、感覚イメージを創作デザインに表現 …3 コマ
- コンテスト応募作品 …3 コマ
- 画家の絵からのデザイン発想 …4 コマ
- ブーツ丈とバリエーションデザイン …3 コマ
- スニーカーのデザイン …2 コマ

[時間内課題] …2 コマ

- 時間内に課題を彩色画にまとめる演習課題
- 期末デザイン画試験

【評価方法】 [S~C・F評価]

評価基準 : 学業評価80% (課題作品提出物と後期末試験)、授業姿勢20% (出欠状況、授業態度を考慮)

主要教材図書 : 文化ファッション大系「ファッション工芸講座シューズ」文化出版局

参考図書 :

その他資料 : ファッション雑誌、著名アーティスト作品写真等

授業の特徴と担当教員紹介 [特徴]…基本ベースの把握を大切にデモンストレーションの伴う講義やリサーチ資料等のインスピレーションアイディアをデザイン画に表現する実技演習。 [担当教員]…学院のF・デザイン専攻科卒業後専任講師にて勤務。その後ジュエリー会社にてデザイナーを経て、現在非常勤講師として勤務。

記載者氏名 河西 恵美子

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GL1	科名 シューズデザイン科 1年	単位	1 単位
科目コード 400300	科目名 服装解剖学	授業期間	半期（前期）

担当教員(代表) : 足立 美智子	共同担当者 :
-------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

解剖学的な人体の構造を衣服パターンと関連づけながら理解させ、美的で機能的な衣服製作に必要な人体に関する基礎知識を学習させる。 人体を外観から観察し、形態やプロポーションを認識する方法を学ばせる。

テーマ	方法	コマ数
オリエンテーション・服装解剖学とは（衣服製作の為に必要な人体の構造）・	講義	1
人体のプロポーションについて	講義	1
人体の構成と衣服「全身骨格」	講義	1
人体の構成と衣服「頭骨」	講義	1
人体の構成と衣服「脊柱」	講義	1
人体の構成と衣服「胸郭」・小テスト 1（脊柱）	講義	1
人体の構成と衣服「乳房」	講義	1
人体の構成と衣服「上肢帯」 1	講義	1
人体の構成と衣服「上肢帯」 2	講義	1
人体の構成と衣服「自由上肢骨」	講義	1
3D 形状計測機を体験・レポート説明	実習	1
人体の構成と衣服「下肢帯」・小テスト 2（上肢）	講義	1
人体の構成と衣服「自由下肢骨」 1	講義	1
人体の構成と衣服「自由下肢骨」 2・小テスト 3（下肢）	講義	1

【評価方法】

服装解剖学ノート（50%）・レポート（25%）・小テスト（25%）・出席

主要教材図書 服装解剖学ノート
参考図書 分担解剖学（骨学）
その他資料 骨格標本・衣服標本

授業の特徴と担当教員紹介 担当教員：足立 美智子 服装解剖学担当教員と文化・服装形態機能研究所主任研究員を兼務。 衣服製作に必要な人体の構造や機能とパターンなどを関連付けた授業を実施。研究所では衣服製作に必要な計測データの蓄積からボディ開発、外部企業や他大学との共同研究開発、障がい者衣料の研究などを行っている。

記載者氏名 足立 美智子

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名	ジュエリー・バック・シューズデザイン科 1学年	単位	1 単位
科目コード	科目名	キャリア開発	授業期間	後期

担当教員(代表) : 杉本 直鴻	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・学生が志望する就職先に内定するために必要な「就職力」を講義+実習を通して身につける

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
1. 就職活動の進め方（企業の採用スケジュールとは、就職活動の進め方）	講義	1
2. 言葉遣い（正しい言葉遣い、敬語、ビジネス会話）	講義+実習	1
3. 電話のマナー・Eメールのマナー	講義・実習	1
4. 会社訪問・店舗見学、マナー	講義・実習	1
5. 自己分析① <学生時代>	講義・実習	1
6. 自己分析② <性格・長所>	講義・実習	1
7. 履歴書・エントリーシート①	講義・実習	1
8. 履歴書・エントリーシート②	講義・実習	1
9. 面接・個人・オンライン（コミュニケーションスキル向上と試験対策）	講義・実習	1
10. 面接・集団・オンライン（コミュニケーションスキル向上と試験対策）	講義・実習	1
11. グループディスカッション①	講義・実習	1
12. グループディスカッション②	講義・実習	1
13. 作品プレゼンテーション	講義・実習	1
14. 内定から入社まで（内定の意味、誓約書、承諾書、労働法規の理解、その他）	講義	1

【評価方法】

- ・出欠席、受講態度、実習（面接練習、グループディスカッション練習、プレゼンテーション練習）参画度

主要教材図書 「就職対策 第 2021 年度版」
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

机上の知識だけでなく、将来について(今後の自分自身のキャリア)を実習・実践を交えて学ぶことができる。

記載者氏名 杉本 直鴻

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GI1	科名 シューズデザイン科 1年	単位 2 単位
科目コード	科目名 特別講義 I	授業期間 通 年

担当教員(代表) :	共同担当者 :
宮原 勝一	

【授業概要、到達目標・レベル設定】

学内外の講師による、レギュラー授業以外の講義・実習。
専門分野だけではなく、他分野の講師による講義を通して幅広い知識を得て視野を広げる。
学校生活や各業界における基本的な知識の習得。就職につながる業界の専門知識の習得。

【授業計画】

- ・学生生活について（人間関係、ストレス対処、カウンセリングについて） 講義 1コマ
- ・SNSトラブルと著作権について 講義 1コマ
- ・お金について（時事解説を含めた経済の基礎知識） 講義 2コマ
- ・流行色解説 講義 1コマ
- ・カメラワーク（作品集制作のための写真の撮り方の基礎） 講義・実習 4コマ
- ・ファッショントレンドとは（ファッショントレンドの仕組みと業種、その仕事について） 講義 1コマ
- ・ファッショングッズデザイナーについて（学生時代にすべきこと） 講義 1コマ
- ・日本の生活文化（風呂敷）について 講義・実習 1コマ
- ・ポートフォリオ制作（就職活動に向けた作品集の作り方） 講義・実習 5コマ
- ・皮革について（皮革の種類や革が出来上がるまで） 講義 2コマ
- ・アートフラワー（アートフラワーの基本テクニック） 講義・実習 3コマ
- ・舞台衣装靴の世界（舞台衣装における靴制作について） 講義 1コマ
- ・お金について（時事解説を含めた経済の基礎知識） 講義 2コマ
- ・輸入皮革、レザーカービング 講義 1コマ
- ・オリジナルブランド設立について（オリジナルブランドの立ち上げと運営について） 講義 1コマ
- ・ものづくりを仕事にする（レディースビスポークシューズについて） 講義 1コマ
- ・シューズクリエーションについて 講義 1コマ

【評価方法】

履修認定（P表示） 評価基準：学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する。

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

学内外の講師による、レギュラー授業以外の講義・実習。

記載者氏名 宮原 勝一

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GI1	科名 シューズデザイン科1年	単位 1 単位
科目コード	科目名 校外研修 I	授業期間 前期（集中）

担当教員(代表) : 宮原 勝一	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

学生同士のコミュニケーション、相互理解、親睦を深める。

団体行動の規律やマナーを守ることをとおして、協調の精神を養う。

学外の美術館、博物館等を見学する。見る事で、観察力・想像力を養い、感想を書くことで分析力・言語化力を養う。

【授業計画】

- マザー牧場に行き、宝探しゲーム「トレジャーロワイヤル」に参加
チームに分かれ、協力してゲームを進めることでコミュニケーションの促進を図る 【4コマ】

感想を書き、提出。

当日の内容を振り返り、コミュニケーションについて改めて考える。 【1コマ】

- 美術館・博物館見学

事前に調べてから見学をし、感想レポートを書く 【3コマ×3施設】

【評価方法】

履修認定（P表示） 評価基準：学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する。

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 宮原 勝一

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GI1	科名	シューズデザイン科1年	単位	1単位
科目コード		科目名	インターンシップI（自由選択）	授業期間	通年

担当教員(代表) :	宮原 勝一	共同担当者 :
------------	-------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

企業研修を通して、実践の場から業界の仕事の内容を認識するとともに、学校教育では授業できない実学を学ぶ。

また、社会人としてのマナーを身につけ、就職に対する意識の向上をはかる

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

○研修先、期間

シューズ業界の企業

1週間～2週間（受け入れ先企業により異なる）

○研修内容

工場見学

工場実務作業

商品の検品

など、研修内容はそれぞれの企業や現状により組まれる。

【評価方法】	学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する（出欠、研修報告、レポート） * 学生数に対する企業受け入れ数が不足の場合のことを考慮し、自由選択とする。
--------	---

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴：夏期・冬期休暇等を利用して実際の企業へ出向き、授業では学ぶことのできない現場の技術や知識を得る、
担当教員：シューズデザイン科専任教授

記載者氏名 宮原 勝一

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GI2	科名 シューズデザイン科 2年	単位 6 単位
科目コード	科目名 シューズデザイン II	授業期間 通年

担当教員(代表)：宮原勝一

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

シューズデザイナーとして即戦力となることを目標に、シューズデザイン I で習得した基本スタイルのデザイン理論・技術をもとに、ブーツなどの難易度の高いスタイルやスニーカーなどのデザイン手法を学び、その応用によるオリジナル課題作品の制作を通じて、高品質でオリジナリティの高いシューズデザイン力を身に付ける。

【授業計画】

1 ブーツ／スニーカーオリジナルデザインの実践

- ・ デザインのファッショニ性の評価と靴としての機能性の確認。
- ・ デザイン説明書が実際の靴制作を考え、素材や構造を正しく必要な箇所で表現できているか。

2 各自が創作したオリジナルラストを使用したオリジナルシューズの制作。

- ・ オリジナルラスト創作時に決めたテーマ、コンセプトに基づき、デザインに落とし込む。
- ・ ラストの特徴を生かしたデザインコンセプト、アイテムを考える。
- ・ デザインのファッショニ性と靴としての機能性を高次元でバランスさせる。
- ・ 設計パターンから紙坪、推定歩留まりの演習を行い、製造原価を算出する。

業態別の販売をシミュレーションし、卸価格、上代価格の仕組みを学ぶ

3 商品として販売するバザー作品の制作

- ・ スリッパサンダルの基本型に装飾を施す形でのデザイン提案。
- ・ 足落ち、履き心地、耐久性など品質を考慮した商品開発の実践。
- ・ 自分本位でなく、お客様の視点に立ったわかりやすく好感の持たれるデザイン。

4 市場調査による時代性とオリジナリティのバランス

- ・ ブランドの商品開発の流れを理解しながら、顧客より一步先を行くデザインの発想。

5 国内、海外のコンテストに参加

- ・ コンテストのテーマ・コンセプトなど主催側の意図を掴み、効率的にデザイン発想。
- ・ サンプル制作の場合は、特に機能性や製作可能な構造などにも配慮。

【評価方法】

S～C・F評価 実技試験、課題作品での評価（80%）／出欠席、授業態度の評価（20%）

主要教材図書 文化ファッション体系ファッション工芸講座 シューズデザイン、プリント配布

参考図書

その他資料

授業の特徴：シューズ制作の授業における評価科目。制作作品のデザインと各期末試験によって評価。

担当教員紹介：シューズデザイン科専任教授 一般社団法人足と靴と健康協議会認定バチェラーシューフィッター
シューフィッター養成講座技術指導員、シューフィッタークラブ（SFC）会員 職歴：大塚製靴（株）

記載者氏名 宮原勝一

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GI2	科名	シューズデザイン科2年	単位	6単位
科目コード		科目名	シューズパターンメーキングⅡ	授業期間	通年

担当教員(代表)：宮原勝一

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

シューズパターンメーキングⅠで習得した基礎的な型紙理論、設計技術を基に、ブーツ、スニーカーなど、より難易度の高い設計方法を学び、将来デザイナー職としても必要なパターンメーキング全般の知識を高める。また設計技術職での就職も視野にオリジナル課題作品の制作などを通じて即戦力になる力を身に付ける。

【授業計画】

1. ロングタイトフィット及びルーズフィットブーツ、編み上げブーツの基本パターン設計手順の取得
 - ・バランスの良いラインの求め方、各部基準寸法、展開方法など。
 - ・ファスナー部分の構造と設計。
 - ・ライニングの設計と縫製のまとめ方。
 - ・各自、片足トライアルアップを制作し釣り込み確認してパターンの修正を行う。
 - ・爪先革クリンピングデザインの加工方法とパターン設計。
2. 各自オリジナルブーツデザインのパターン設計
 - ・基本の設計基準を駆使し応用力を養う
 - ・各自のパターンから靴を製作し、完成度をチェック。
3. スニーカーの基本パターン設計手順の取得
 - ・バランスの良いラインの求め方、各部基準寸法、展開方法など
 - ・ライニングの設計と縫製のまとめ方。
4. 各自オリジナルスニーカーデザインのパターン設計
 - ・基本の設計基準を駆使し応用力を養う
 - ・各自のパターンから靴を製作し、完成度をチェック。
5. 各自オリジナルマイラストを使用した各自オリジナルデザインのアッパーパターン設計
 - ・基本の設計基準を駆使し応用力を養う
 - ・靴としてのフィッティング、歩行などの機能性。
 - ・各自のパターンから靴を製作し、完成度をチェック。
6. 卒業制作3点以上の組作品として自由な製法とラストを使用した各自オリジナルデザインのアッパーパターン設計
 - ・基本の設計基準を駆使し応用力を養う
 - ・靴としてのフィッティング、歩行などの機能性
 - ・各自のパターンから靴を製作し、完成度をチェック。
7. 各自のソールデザインに適した底型設計と加工方法の実践
8. 敷革のデザイン、素材に合わせ縫製加工方法を検討し、適した紙型設計を行う

【評価方法】

S～C・F評価 実技試験、課題作品での評価（80%）／出席、授業態度の評価（20%）

主要教材図書 文化ファッション体系ファッション工芸講座シューズデザイン、プリント配布

参考図書

その他資料

授業の特徴：シューズ制作の授業における評価科目。制作作品のパターンと各期末試験によって評価。

担当教員紹介 シューズデザイン科専任教授 一般社団法人 足と靴と健康協議会認定バチェラーシューフィッターシューフィッタークラブ（SFC）会員 職歴：大塚製靴（株）

記載者氏名 宮原勝一

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GI2	科名 シューズデザイン科2年	単位 8単位
科目コード	科目名 シューズ制作実技Ⅱ	授業期間 通年

担当教員(代表)：宮原勝一

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

シューズ制作実技Ⅰで習得した技術をもとに、より難易度の高いブーツ、加硫スニーカーによるハンドメイキングでの作品制作を通して、それぞれの靴製作工程での重要な品質のポイントを理解し、靴業界に就職後に必要な品質を見極める力を身に付ける。また靴メーカー生産技術職への就職にも対応できる基本的な製靴技術を習得する。

【授業計画】

1. 自作オリジナルラストによるオリジナルシューズ作品1点の制作

各自オリジナルパターン設計後、トライアルアッパーを製作し仮釣込みでチェックを行い、パターン修正。

- (1) アッパー製作（材料の裁断、スキ加工、縫製製甲まとめ）
- (2) 先芯、月形芯の加工、中底の素材と加工方法
- (3) 釣込み（ハンドラスティング）、起毛作業
- (4) 底付け、コバ加工
- (5) 敷革の加工、最終仕上げ

2. 卒業制作として自由にラスト、製法を選択しオリジナルシューズ3点以上の組作品の制作。

各自オリジナルパターン設計後、トライアルアッパーを製作し仮釣込みでチェックを行い、パターン修正。

- (1) アッパー製作（材料の裁断、スキ加工、縫製製甲まとめ）
- (2) 先芯、月形芯の加工、中底の素材と加工方法
- (3) 釣込み（ハンドラスティング）、起毛作業
- (4) 底付け、コバ加工、自由な製法の選択
- (5) 敷革の加工、最終仕上げ

3. 自作オリジナルラストによるオリジナルシューズ作品1点の制作

各自オリジナルパターン設計後、トライアルアッパーを製作し仮釣込みでチェックを行い、パターン修正。

- (1) アッパー製作（材料の裁断、スキ加工、縫製製甲まとめ）
- (2) 先芯、月形芯の加工、中底の素材と加工方法
- (3) 釣込み（ハンドラスティング）、起毛作業
- (4) 底付け、コバ加工
- (5) 敷革の加工、最終仕上げ

4. 卒業制作として自由にラスト、製法を選択しオリジナルシューズ3点以上の組作品の制作。

各自オリジナルパターン設計後、トライアルアッパーを製作し仮釣込みでチェックを行い、パターン修正。

- (1) アッパー製作（材料の裁断、スキ加工、縫製製甲まとめ）
- (2) 先芯、月形芯の加工、中底の素材と加工方法
- (3) 釣込み（ハンドラスティング）、起毛作業
- (4) 底付け、コバ加工、自由な製法の選択による
- (5) 敷革の加工、最終仕上げ

【評価方法】

S～C・F評価 実技試験、課題作品での評価（80%）／出欠席、授業態度の評価（20%）

主要教材図書 文化ファッション体系ファッション工芸講座 シューズデザイン、必要に応じて教員制作のプリント配布

参考図書

その他資料

授業の特徴：シューズ制作の授業における評価科目。制作作品と各提出物により評価

担当教員紹介：シューズデザイン科専任教授 一般社団法人 足と靴と健康協議会認定バチェラーシューフィッターシューフィッタークラブ（SFC）会員 職歴：大塚製靴（株）

記載者氏名 宮原勝一

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	G L 2	科名	シューズデザイン科（2年）	単位	1 単位
科目コード	301950	科目名	ラストメーリング	授業期間	4月～7月（前期）

担当教員（代表）：伊藤 博通 共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

足型計測に基づくオリジナルラストマスター モデルを製作することで、
造形の感性と表現力を磨くと共に、
靴のスタイル、製法による形状の違い、フィッティングに及ぼす影響、等の、
ラストの重要性を学ぶ。

【授業計画】

◎テーマ「靴型とは？」 講義 1コマ

◎ラストモデル作製

- ・オリジナル靴のデザイン画制作 実習 1コマ
- ・オリジナルデザインからベースラスト判定 演習 1コマ
- ・マスターモデル用底ゲージ作製 実習 1コマ
- ・マスターモデル作製 実習 11コマ

（課題進捗状況によっては、仮靴製作の上、評価実施⇒マスターモデル調整実習）

※後期別科目の課題では、

製作したマスターモデルを使用し、オリジナルデザイン展示サンプル靴を作成する。

【評価方法】

◎<S～C・F>の5段階評価（モデルとしての完成度、出来栄え、等を評価）

- ・ S…意図とする形状が判断でき、仕上りも良好で、仮靴等で自己評価を実施後、マスターモデルの再調整を行い、期末日までに課題を提出した
- ・ A…意図とする形状が判断でき、仕上りも良好で、仮靴等で自己評価を実施後、期末日までに課題を提出した
- ・ B…意図とする形状が判断でき、仕上りも良好で、期末日までに課題を提出した
- ・ C…意図とする形状が判断できる出来栄えで、期末日までに課題を提出した
- ・ F…期末日までに課題提出しなかった

◎評価基準 学業（課題）評価 40% / 授業姿勢 60%

主要教材図書 無し

参考図書 無し

その他資料 オリジナル（作成）資料

授業の特徴と担当教員紹介

靴作りに必要な靴型、そのマスターモデルの作製は非常に難しい授業課題です。
業界で30年以上の経験を持つ講師が、生徒一人一人に合わせた指導を行い、他科目と連携を取って、卒業までに、学生自身がオリジナルデザイン靴を作ります。

記載者氏名 伊藤 博通

科コード	科名	ジュエリーデザイン科、バッグデザイン科、 シューズデザイン科 2年	単位	2
科目コード	科目名	造形デザイン	授業期間	通年

担当教員(代表) : 北川 陽史	共同担当者 :
------------------	---------

教育目標・レベル設定など
ファッショントレーニング工芸科の各分野において必要とされる立体造形に関する感覚を養成し、広く様々な造形経験を通じて、造形的なセンスと構成力を研鑽することが教育目標となります。一般的な造形・デザインから発展した様々な造形行為への理解を基調に、追体験と実験的制作を通して個人の主張する表現が遂行出来ることを目指します。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、
授業は造形作品(立体作品)の制作が中心になります。
各テーマに対し前提講議と解説をビジュアル資料を中心に展開し、制作に関わる方法論も解説する。
制作実習、作品講評を通して造形に対する基本的な理解と展開方法の具体例をアドバイスすることで、個人の造形的、空間的感覚の育成、拡張を目指します。
1 「場」の設定 / 「モノ」、「空間」が構成される基本要素である点・線・面を用いて構成を行う。 木角材を用い「モノ」、「空間」の在り方を探る ヒノキ角材(5コマ)
2 既成物からの造形要素抽出 / 既製品の形態を複合し、造形する。 素材特性の理解と技法習得、身体ベースの立体コラージュ(4コマ)
3 100枚ドローイング ドローイングから、自己分析、自己表現を行う。 無意識的に表現されたドローイングを客観的に解釈し、そこから表現を重ねていく。(4コマ)
4 変容する素材からの立体造形 / 造形要素(点、線、面、量感)の変化を表現に用いる。 アルミ板を用いた立体造形演習。(5コマ)
5 表現の家 / 「表現」する事とは何か、「家」とは何か。 自分自身と対峙し、思考し、省察する。その繰り返し。(5コマ)
6 「場」からの着想 / 実在の空間から造形の着想を得て、表現する。 構内の空間を利用し、空間構成を行う。グループ製作(5コマ)

評価方法・対象・比重 S~C・F評価 評価基準: 学業評価 60%、授業姿勢 40%
制作実習における成果物を評価基準の大きな対象と位置づける。造形演習から進展させた造形の理解とその表現を評価し、独創性や独自の加工方法、表現の可能性が感じられるものを評価する。
実習時の制作姿勢、出席状況なども加味し、総合的に評価する。

主要教材図書 特になし
参考図書 Visual design(平面・色彩・立体構成) 1 (改訂新版) 日本グラフィックデザイナー協会／六耀社
その他資料 特になし
記載者書名欄 北川 陽史

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GI2	科名 シューズデザイン科2年	単位 2 単位
科目コード	科目名 グラフィックワーク II	授業期間 通年

担当教員(代表) : 飯塚 有葉	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

Photoshop・Illustrator 初心者を対象とし、Photoshop では、画像の切り抜き・合成・手描きデザイン画の着彩ができるようになることを目標とする。Illustrator では、マップのレイアウトデザインができるようになることを目標とする。

【授業計画】

1. ポートフォリオ修正 (Illustrator) : 講義・実習 4コマ
①整列機能の使い方 ②文字ツール ③ポートフォリオのブラッシュアップ
2. ペンツールの使い方 (Illustrator) : 講義・実習 4コマ
①直線の描き方 ②曲線の描き方 ③線の修正
3. デザインバリエーションの作成 (Illustrator) : 講義・実習 4コマ
①ライブペイントの使い方 ②トレース ③デザインバリエーションの作成
4. デザイン画の着色方法 (Photoshop) : 講義・実習 4コマ
①ブラシツールでの着色 ②素材写真の貼り付け ③陰影のつけ方
④連続柄のいれ方
5. エクセルの基本 1コマ
①表の作成 ②オートフィル ③計算式の使い方
6. プレゼンテーション : 講義・実習 4コマ
①パワーポイントの使い方 ②アニメーションの使用方法 ③発表原稿の作成
④プレゼンテーション
7. Photoshop の動画編集 : 講義・実習 2コマ
①動画のカット、移動、サイズ変更 ②文字や写真の追加方法 ③レンダリング
8. モノグラムデザイン (Illustrator) : 実習 4コマ
①水玉・ストライプ ②オリジナルスウォッチの作成

【評価方法】

学業評価 60%、授業姿勢 40%

主要教材図書

参考図書

その他資料 Adobe Photoshop CC2021/Adobe Illustrator CC2021

授業の特徴と担当教員紹介 講義と実習を交互に行い、実際にPCを操作しながらグラフィックのソフトの使用方法を身につける授業です。担当教員は、デジタルプリントデザインを専門としており、連続柄の知識を加えながら、幅広いPCスキルを身に付けられる授業を目指しています。

記載者氏名 飯塚 有葉

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GG2・GH2・ GL2 科目コード	科名 ファッション工芸専門課程 2年 科目名 ファッションマーケティング	単位	単位
		授業期間	()
担当教員(代表) : 丹羽一友		共同担当者 :	

【授業概要、到達目標・レベル設定】

マーケティングの基礎を学び市場の細分化とその特徴を理解しファッションビジネスへの応用、活用を具体的に実行する方法を学ぶ。戦略立案から商品企画までを行い最終的に企画プロジェクトのプレゼンテーションを行い、即戦力としての知識、経験を身につける。

【授業計画】前期・後期(通年) (各 1 コマ)

①マーケティングの基礎知識（概論）：目的、方法

一般論としてのマーケティングとは何か、マーケティングのプロセスを理解する

②ファッションビジネスにおける「実践マーケティング」

マーケティング手法を具体的にファッションビジネスに落とし込む方法を理解する

③「消費者行動」と「ファッション表現」

マーケティングの対象者である顧客のファッションにおいての消費行動を理解する

④ファッション業界を取り巻く現状：統計データより

現状のファッションビジネスのおかれている状況を具体的な数字データをもとに理解する

⑤国内流通の現状について：川上～川下（企業別データ）

国内のファッションビジネスのサプライチェーンの基本と変化を理解する

⑥国内小売業について

国内の顧客との接点である小売業の種類、詳細を理解する

⑦プランディングについて

「ブランド」の意味と構築の方法、維持までを理解する

⑧販売計画：SPA 編

SPA における販売計画作成の仕方、商品の調達方法などを理解する

⑨販売計画：アパレル（卸売業態）編

卸アパレルにおける販売計画作成の仕方、商品の調達方法などを理解する

⑩販売計画：アパレル（OEM）編

OEM アパレルにおける販売計画作成の仕方、商品の調達方法などを理解する

⑪商品企画：SPA 編

SPA における商品企画から生産指示まで具体的な業務を理解する

⑫商品企画：アパレル（卸売業態）編

卸アパレルにおける商品企画から生産指示まで具体的な業務を理解する

⑬商品企画：アパレル（OEM）編

OEM アパレルにおける商品企画から生産指示まで具体的な業務を理解する

⑭戦略立案、プランディング

リサーチ結果から戦略を立て、プランディングを行う具体的方法を理解する

⑮戦略立案、プランディングの実施

戦略立案を実際に実行するブランドのプランディング、ターゲティング、コンセプトなどの作り方を理解する

⑯戦略、プランディング発表

仮説としての戦略、プランディングを発表することにより、進むべき方向性の確立を行う

⑰情報収集とリサーチ

マーケットの流れ、ライフスタイルなどの仮説を立て検証し戦略立案を行う方法を理解する

⑱リサーチのまとめ

実際に立てた戦略に対しての仮説がリサーチの結果どのような状況であったかを分析

⑲リサーチ発表

仮説とリサーチ結果を分析、考察、修正を実際に実行するプレゼンテーションを行う（ツールの作成）

⑳マーチャンダイジング及びプロモーション

リサーチ結果をもとに具体的に商品のマーチャンダイジングの組み立て方法を理解する

㉑マーチャンダイジング実施

商品企画の実施

㉒マーチャンダイジング発表

実際に立案したマーチャンダイジングの計画のプレゼンテーションの方法を理解する

㉓販売計画、生産計画、利益計画

前回組み立てたマーチャンダイジングの具体的な売上、コスト、利益の計画の作成方法を理解する

㉔販売計画、生産計画、利益計画の策定

販売計画、生産計画、利益計画の策定

- ㉕販売計画、生産計画、利益計画の発表
立案したマーチャンダイジング計画との整合性を含めた確認を行う
- ㉖プレゼンテーション資料の作成方法、及びプレゼンテーションの方法
実際に社内、販売先などに行うプレゼンテーションの方法を理解する
- ㉗プレゼンテーション資料の作成
自社製品の特徴、売上、利益計画、生産計画などをまとめる
- ㉘ブランドセールスプレゼンテーションのシミュレーション
実際と同じような条件のもと製品プレゼンテーションを行う（シミュレーションとして）

【評価方法】

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名 F工芸科シューズデザイン2年	単位	1単位
科目コード	科目名 西洋服装史 I	授業期間	半期（後期）

担当教員(代表)：朝日 真

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

古代から近世18世紀までは、その時代背景を踏まえ美術史や映画によって服飾を解説していく。19世紀近代以降は、パリオートクチュール・ビジネスが確立し、ファッショングが産業化していく過程を解説する。20世紀以降、デザイナーの時代が始まり、合わせてデザイン史、音楽史、映画史などにも触れながら、多方面からファッショングの理解を深める。

【授業計画】

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション	16	
2	古代の服飾	17	
3	中世の服飾	18	
4	ルネサンスとバロックの服飾①	19	
5	バロックの服飾②ロココの服飾①	20	
6	ロココの服飾②	21	
7	第一帝政、王政復古時代の服飾	22	
8	第二帝政時代の服飾	23	
9	第三共和制時代から1900年代のファッショング	24	
10	1910年代～1920年代のファッショング	25	
11	1930年代～1940年代のファッショング	26	
12	1950年代～1960年代のファッショング	27	
13	1970年代～1980年代のファッショング	28	
14	1990年代～2000年代のファッショング	29	
15		30	

【評価方法】

レポート提出 (50%)、出欠と授業態度 (50%)

主要教材図書

文化ファッショング大系「西洋服装史」

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

学生がデザイン発想するために役立つ授業展開を心がけている。メンズとストリートファッショングに特に興味がある。

記載者氏名 朝日 真

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コド GL2	科名 シューズデザイン科 2年	単位	2 単位
科目コード 501420	科目名 シューズデザイン画 II	授業期間	通年 ()

担当教員(代表) : 河西 恵美子 共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

シューズデザインワークの上で即戦力として使えるデザイン画の習得。就職活動に活用できるポートフォリオ(作品集)一端の課題作成、及び創作デザイン等の企画構成力を目指す。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

[ポートフォリオ作成] …4 コマ

●マイコレクション

…個々のポートフォリオ(作品集)作成の重要性を实物一作品の構成を通して、デザインプロセスから
实物製作の過程や物づくりの取組が見えるレイアウトであるよう指導
テーマ設定、コンセプト、ビジュアルイメージマップ、デザイン画、アイテムバリエーション等を実習
(デザイン構成と表現内容の工夫や展開スタイルなどを強化)

[創作デザイン及び企画構成]

●コンテスト応募及び創作デザイン作品 …6 コマ

●スニーカー表現 …2 コマ

●形の発想 …4 コマ

…装飾図案的なデザインと形のリサーチ資料のイメージを組合せて、新たなデザインの構成を実習

●素材研究企画デザイン …4 コマ

…個々のテーマで研究素材をリサーチし、ビジュアル資料や情報等新規提案となる様なシューズデザインのアイディアを企画構成しまとめる

●モチーフからのオリジナルデザイン …2.5 コマ

…オリジナルモチーフデザインを作成し、シューズデザインへ融合

●デザイン研究 …4.5 コマ

…デザインの表現強化ワークとして、テーマ設定構成にてアイテム図10点のデザイン作成

[時間内課題] …2 コマ

●時間内に課題を彩色画にまとめる演習課題

●前期・期末デザイン画試験

【評価方法】 [S~C・F評価]

評価基準: 学業評価80% (課題作品提出物と前期後期末試験)、授業姿勢20% (出欠状況、授業態度を考慮)

主要教材図書 : 文化ファッション大系「ファッション工芸講座 シューズ」文化出版局

参考図書

その他資料 : ファッション雑誌、著名アーティスト作品写真等

授業の特徴と担当教員紹介 [特徴]…個々のオリジナル作品集の効果的な構成習得。 創作デザインのアイディア展開や活用できる企画構成力。 [担当教員]…学院のF・デザイン専攻科卒業後専任講師として勤務。 その後ジュエリー会社にてデザイナーを経て、現在非常勤講師として勤務。

記載者氏名 河西 恵美子

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 科目コード	科名 ファッション工芸各科 科目名 現代ファッション論	単位	単位
		授業期間	前期 単位

担当教員(代表) : 関谷麻美

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

現代において国際的に流通している“グラジュアリーブランド”は、流行を牽引するだけでなく、全世代の強い憧れの的である。それらには長い歴史があり、時代の流れを読みながら発展してきたブランドがほとんどだ。さらに21世紀に向けて環境問題と向き合い、“サステナブルファッション”を提案するブランドも数多い。この講座では著名なラグジュアリーブランドの成り立ちと現在の動向、そして未来への展望を掘り下げる。

内容	方法	コマ
「イントロダクション」現代のラグジュアリーブランドとは？ +全14回の講義の流れ	講義	1
「パリ=現代の“ラグジュアリーブランド”的はじまり①=シャネル」	講義	2
「パリ=現代の“ラグジュアリーブランド”的はじまり②=ディオール、サンローラン」	講義	3
「パリ=現代の“ラグジュアリーブランド”的はじまり③エルメスとルイ・ヴィトン」	講義	4
「パリ=パリコレクションから世界へ。“ラグジュアリーブランド”的国際化とサスティナビリティ①」	講義	5
「パリ=パリコレクションから世界へ。“ラグジュアリーブランド”的国際化とサスティナビリティ②」	講義	6
「イタリア=レザーの老舗からトータルブランドへ=60年代以降の“メイド・イン・イタリー”的大逆転①」	講義	7
「イタリア=レザーの老舗からトータルブランドへ=60年代以降の“メイド・イン・イタリー”的大逆転②」	講義	8
「イタリア=レザーの老舗からトータルブランドへ=60年代以降の“メイド・イン・イタリー”的大逆転③」	講義	9
「イギリス・ロンドン=バーバリーからヴィヴィアンW、ステラMの地球に優しいファッションまで」	講義	10
「現代ファッションにおいて最も重要なキーワード=“サステナブル”について」	講義	11
「日本・東京=欧米経由で国際的になった日本ブランド 1970年から現代まで」	講義	12
「アメリカ・NY=ブルックス・ブラザーズからラルフ・ローレン、マークJ、マイケルKまで」	講義	13
「パリ・ヴァンドーム広場のハイジュエラー」	講義	14

【評価方法】

出席率・遅刻率、授業への積極的な参加（挙手、質疑応答など）、課題の提出・内容から総合的に判断する。

主要教材図書 毎回の講義にはパワーポイントによる資料をモニターで提示。

参考図書 講義で取り上げたブランドの公式ホームページ。

その他資料 wwd.japan.com

授業の特徴と担当教員紹介

ファッション誌編集者・ジャーナリストとして、常に最先端のラグジュアリーブランドに触れている経験を生かし、スピードに変化してゆくブランドの動向を的確に捉え、解説する。また、現代とこれからのファッション業界で外せないキーワード「サステナブル」についても、隨時、触れながら、時間のあるかぎり詳細を伝えていくように心がける

記載者氏名 関谷麻美

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コド	科名 工芸科2年	単位	2単位
科目コド	科目名 英会話	授業期間	通年

担当教員(代表) : 増田和香子	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

初級程度の英文法を学んだ学生を対象に、文法の復習と口頭でのアウトプットを主な目標とする。ファンションを専攻している学生を対象としているため、ファンション関連の語彙を増すこと、ファンション関連の表現に接することにも重点を置いたプログラムとしている。レベルは初級（中位）から中級まで。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
Easter/level check	演習	1	Unit 19 Comparatives	演習	1
Unit 1 Self-introduction	演習	1	Unit 20 Fashion items	演習	1
Unit 8 The present tense: time & frequency	演習	1	Unit 21 Colors/Patterns	演習	1
Unit 9 The past tense: Spring vacation	演習	1	Unit 22 Laundry care	演習	1
Unit 10 The perfect tense	演習	1	Unit 23/Unit 26 Body and face parts	演習	1
Unit 11 The future tense: will vs. be going to	演習	1	Unit 24 Presentation 1: #Outfit Of The Day	演習	1
Unit 12 "wh" questions	演習	1	Unit 25 Adjectives for fashion	演習	1
Unit 13 Gerunds: likes/dislikes	演習	1	Unit 27 Structure of a presentation & Sequence connectors (How to make it?)	演習	1
Unit 14 The modal verbs	演習	1	Unit 28/29 Large numbers and Shopping	演習	1
Unit 16 Conjunctions	演習	1	Unit 31 Resume	演習	1
Unit 15 Giving direction (1): Prepositions	演習	1	Unit 32 Job interview	演習	1
Unit 17 "Giving direction (2): Asking for and giving direction"	演習	1	Unit 33 Fashion show	演習	1
Review of the spring semester /Culture 1	演習	1	Preparation for final presentation	演習	1
			My collection	演習	1

【評価方法】平常点(出席、クラス参加)30%、授業中の小テスト30%、ライティング10%、プレゼンテーション30%の評価基準を用い、S~C・F評価をする。

授業の特徴と担当教員紹介

プレイスマントテストを行い、レベル別編成とする。テキストは文化服装学院オリジナルのテキストを用い、文法事項やファンション関係の語彙を再確認する。

主要教材図書 *Essential English for Fashion Students* (文化服装学院編)

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 増田和香子

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GI2	科名 シューズデザイン科2年	単位 1単位
科目コード	科目名 特別講義 II	授業期間 通年

担当教員(代表) : 宮原 勝一	共同担当者 : 大工原 瞳 白方 茜
---------------------	-----------------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

多方面にわたる講師の講義を通して、広い視野と高い専門性、豊かな人間性について学ぶ。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- | | | | |
|----------------------|-------|------|-----------|
| 1. 卒業1年前から意識しておきたいこと | 講義 | 1コマ | 講師: 山地 保 |
| 2. 皮革のメンテナンス | 講義と実演 | 1コマ | 講師: 静 孝一郎 |
| 3. トレンド情報 | 講義 | 1コマ | 講師: 岡村 嘉子 |
| 4. 金属アレルギーについて | 講義 | 1コマ | 講師: 鈴木 久子 |
| 5. 手縫い靴の職人技 | 講義と実演 | 10コマ | 講師: 常世田 哲 |
| 6. シューズMDの仕事 | 講義 | 1コマ | 講師: 未定 |

S

【評価方法】

学業姿勢・出欠状況、レポート提出を基に、履修認定の是非を決定する

授業の特徴と担当教員紹介

様々な業界で活躍する方々より、広い視野と高い専門性、豊かな人間性について学ぶ授業

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 宮原 勝一

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GI2	科名 シューズデザイン科2年	単位 1単位
科目コード	科目名 特別講義 II	授業期間 通年

担当教員(代表) : 宮原 勝一	共同担当者 : 大工原 瞳 白方 茜
---------------------	-----------------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション全般のトレンド情報、またグッズに関わるクリエーターや企業デザイナーの仕事、特殊技法やその活用方法などを学び、多方面にわたる講師による講義や実習を通し、専門科目のより一層の充実を図ることを目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 卒業1年前から意識しておきたいこと	講義	1コマ	講師: 山地 保
2. 皮革のメンテナンス	講義と実演	1コマ	講師: 静 孝一郎
3. トレンド情報	講義	1コマ	講師: 岡村 嘉子
4. 金属アレルギーについて	講義	1コマ	講師: 鈴木 久子
5. 手縫い靴の職人技	講義と実演	10コマ	講師: 常世田 哲
6. シューズMDの仕事	講義	1コマ	講師: 未定

【評価方法】

学業姿勢・出欠状況、レポート提出を基に、履修認定の是非を決定する

授業の特徴と担当教員紹介

様々な業界で活躍する方々より、広い視野と高い専門性、豊かな人間性について学ぶ授業

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 宮原 勝一

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GI2	科名 シューズデザイン科2年	単位 1単位
科目コード	科目名 校外研修Ⅱ	授業期間 後期

担当教員(代表) : 宮原 勝一	共同担当者 : 大工原 瞳 白方 茜
---------------------	-----------------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

企業訪問、工場見学、美術工芸品の見学や歴史的文化にふれることにより、感性を磨き豊かな創造性と深い知識を養う。
※ジュエリーデザイン科、バッグデザイン科2年と合同

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

○企業、工場見学

- ・ 豊岡鞄企業 : (株)由利
- ・ ファスナー・金具企業 : 浮田産業(株)
- ・ 兵庫県姫路市 タンナー : (株)山陽
- ・ シューズメーカー : (株)ニチマン
- ・ 博物館 : 松永はきもの資料館
- ・ ビーズ工場 : トーホー(株)

○レポート提出

【評価方法】

学業姿勢・出欠状況、レポート提出を基に、履修認定の是非を決定する

授業の特徴と担当教員紹介

革や副資材を材料とするアイテムの専門科目を扱う企業・工場を見学し見聞を広めることが出来る様行程を組んでいる。

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 宮原 勝一

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GI2	科名 シューズデザイン科2年	単位 1単位
科目コード	科目名 校外研修Ⅱ	授業期間 後期

担当教員(代表) : 宮原 勝一	共同担当者 : 大工原 瞳 白方 茜
---------------------	-----------------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

企業訪問、工場見学、美術工芸品の見学や歴史的文化にふれることにより、感性を磨き豊かな創造性と深い知識を養う。
※ジュエリーデザイン科、バッグデザイン科2年と合同

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

○企業、工場見学

- ・ 豊岡鞄企業 : (株)由利
- ・ ファスナー・金具企業 : 浮田産業(株)
- ・ 兵庫県姫路市 タンナー : (株)山陽
- ・ シューズメーカー : (株)ニチマン
- ・ 博物館 : 松永はきもの資料館
- ・ ビーズ工場 : トーホー(株)

○レポート提出

【評価方法】

学業姿勢・出欠状況、レポート提出を基に、履修認定の是非を決定する

授業の特徴と担当教員紹介

革や副資材を材料とするアイテムの専門科目を扱う企業・工場を見学し見聞を広めることが出来る様行程を組んでいる。

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 宮原 勝一

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GI2	科名 シューズデザイン科2年	単位 1単位
科目コード 945020	科目名 インターンシップⅡ（自由選択）	授業期間 通年（自由選択）

担当教員(代表)：宮原勝一

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

就業体験を通して、実践の現場から業界の仕事の内容を学び、働くことの厳しさや社会人としてのマナーを身につけると共に、希望する業種、職種と合致しているかを確認し、就職に対する意識の向上をはかる。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 研修先

シューズ業界の各業種（販売会社、卸問屋、メーカーなど）

企画デザイン、設計、制作、生産管理、販売などの職種。

2. 期間

2週間（春休み、夏休み）

3. 研修内容

実務作業の体験（企画デザイン、設計、制作、生産管理、検品、販売など）

研修内容は受け入れ企業により組まれる。

【評価方法】 P 評価 出欠、研修報告、レポート

※学生数に対する企業受け入れ数が不足の場合のことを考慮し、自由選択とする。

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴：就業体験を通して、実践の現場から業界の仕事の内容を確認し、就職に対する意識の向上をはかる。

担当教員紹介： シューズデザイン科専任教授

記載者氏名 宮原勝一

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GI2	科名 シューズデザイン科3年	単位	4単位
科目コード	科目名 卒業研究・創作	授業期間	後期

担当教員(代表)：宮原勝一	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標、レベル設定】

学校での学びの集大成として卒業作品の制作と展示発表。

各自テーマ、コンセプトを考え、3年間学んできたデザイン、パターン、製靴技術を駆使し、オリジナルシューズ3足の組作品として制作する。年度末に、帽子デザイン科、ジュエリーデザイン科、バッグデザイン科の学生と合同で卒業作品展示を企画し、各自決められた空間に、作品テーマに沿ったディスプレイを完成させる。卒業展示会の準備、広報、搬入、搬出、記録まで学生全員で役割分担して行い、展示期間中は当番制で会場に立ち、来場者に作品説明などを行うことによって、将来デザイナーとして商品コンセプトやアピールポイントをお客様に伝えるスキルと重要性を学ぶ。

作品テーマの表現力、制作日程管理、作品の完成度、評価する。

【授業計画】

(1) 卒業作品展での自分のテーマ、コンセプトのレポート作成。

- ・ 靴以外のブースのディスプレイまでイメージを確立する。

(2) テーマ、コンセプトに沿ったデザインスケッチの作成。

- ・ ブース内のバランスを考えてサンダル、ブーツ、短靴、パンプス、紳士／婦人など作品構成を絞り込む。
- ・ 個々の素材、色、サイズも全体のイメージから決めていく。

(3) 作品の制作（設計、裁断、製甲、底加工、釣込み、底付け、仕上げ）

- ・ 卒業作品提出点数～3点以上。

(4) ディスプレイブースの制作

- ・ クラスで決めた展示ブースの規格条件に合わせ各自、テーマに合わせたディスプレイと装飾を行う。

(5) 展示会の企画・運営

評価方法・対象・比重

課題作品での評価（80%）／出欠席、授業態度の評価（20%）

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴：学びの集大成として卒業作品制作と、その発表と評価の場として卒業作品展示の企画、開催。

担当教員紹介：シューズデザイン科専任教授 一般社団法人 足と靴と健康協議会認定バチェラーシューフィッター
シューフィッタークラブ（SFC）会員 職歴：大塚製靴（株）

記載者氏名 宮原勝一